

クリーンレイク諏訪 諏訪湖だより



第30号 (H29.8月発行)

今月のトピックス

今年もやります！！「クリーンレイク諏訪 ふれあいまつり」

毎年9月10日の下水道の日に関連して実施してきた「諏訪湖ふれあいまつり」。
今年から名称も「クリーンレイク諏訪 ふれあいまつり」に改め、下水道の啓発等を中心にしたイベントとして開催します。今年の開催日は、9月9日土曜日です。

【2017 クリーンレイク諏訪 ふれあいまつり】の概要

- 1 日 時 平成29年9月9日(土) 午前10時から午後3時まで(少雨決行)
- 2 場 所 クリーンレイク諏訪(諏訪湖流域下水道 豊田終末処理場)
- 3 主な内容 (楽しい催しが盛りだくさん!!)
 - ★処理場見学(普段見られない施設の見学コースもあります)
 - ★スタンプラリー(場内に設定されたポイントでクイズに答えて景品をもらおう!)
 - ★お楽しみ広場、お楽しみくじ
 - ★微生物観察(下水処理で活躍する微生物を観察します)
 - ★マンホールカードプレゼント(コレクションカードとして人気が高まっています)
 - ★ステージ発表
 - ★物品販売

詳しくはこちらをご覧ください。↓

<http://www.pref.nagano.lg.jp/suwakoryuiki/jimusho/event/fureai.html>



《昨年のふれあいまつりの様子》

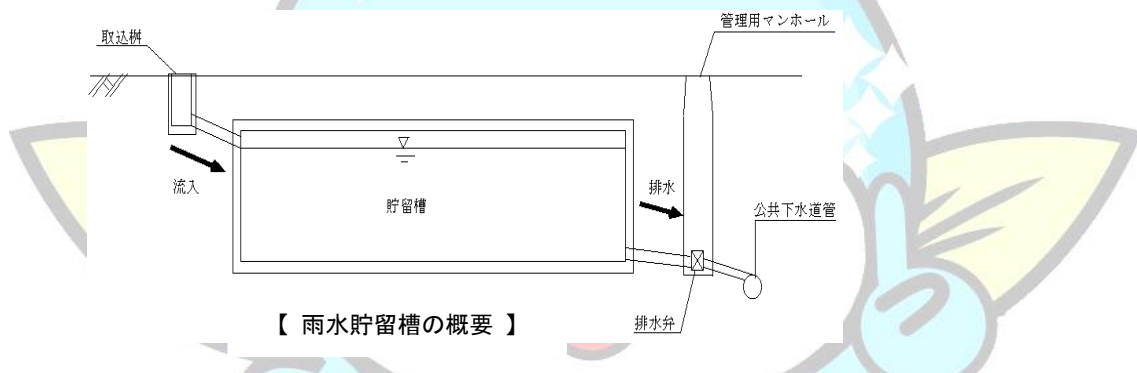
市街地排水浄化（ノンポイント）対策施設を紹介します

諏訪湖の水質改善のためには、諏訪湖に流れ込む汚濁物質の削減対策が必要です。下水道の普及により、工場や一般家庭の汚水対策はほぼ完了しました。これらは、排出源が明らかになっていることから「特定汚染源」と呼ばれます。これに対し、排出源を特定することができない汚染が、「非特定汚染源」です。（「ノンポイントソース」とも呼びます）非特定汚染源には、山林や農地、市街地など、広範囲で様々なものがあり、削減対策は容易ではありません。

市街地系の汚濁物質としては、住宅の屋根や路面に堆積したちりやほこり、排気ガスなどが考えられますが、これらは雨で流され、諏訪湖に流入します。特に降り始めの雨に多く含まれています。

諏訪湖流域下水道では、この市街地系の汚染源対策として、汚濁物質を多く含んだ初期雨水を貯留、沈殿、処理するための施設を、平成 10 年岡谷市本町に設置しました。流域面積は 5.5ha、流域の最下流にある雨水貯留槽の容量は 227m³です（H2.8m×W2.8m×L30.2m）。初期雨水を貯留し、下水道に流して処理することで、諏訪湖への負荷を軽減します。貯留槽に沈んだ汚泥は年 1 回清掃します。

平成 11 年から 13 年に行った実証実験では、汚濁負荷（BOD、COD、SS、T-N、T-P）の削減効果について、流出高が 2mm/h で 50%、4mm/h で 80%という結果が得られています。



《歩道の地下に雨水貯留槽が設置されています》